法頭からの物体の落下防止対策

飛来落下ー４

工事内容	補強土壁工
危険性等発生	☐ 災防協パトロール ☒ 店社パトロール ☐ 作業所の巡視 ｜ その他（　　）

危 険 状 況 を 示 す 内 容 ・ 写 真

下方で作業しているので不要な資材等は撤去するか落下防止を行うこと

改善記録（写真、略図等）

使用済みの材料だったので撤去した。

具 体 的 な 問 題 点 の 把 握 と 評 価 の 低 減 対 策 の 検 討

番号	問題点の把握	リスク評価 重大性	可能性	評価	危険度	危険性又は有害性の評価の低減対策	対策後再評価 重大性	可能性	評価	危険度	関係法令	コメント（追記・確認すべき事項）
1	法頭から資材が落下し、下で作業している人に激突する。	5	3	15	B	法頭に置かれてる不要な資材を撤去した。	3	1	3	E	安衛則第537条	山岳道路の法留擁壁補強工事など、急峻な法面箇所での作業では、事前に作業通路、囲い、手すり、足場からの渡りなどの安全施設の設置が必要です。

重大性	評点	評価基準	可能性	評点	評価基準	評価（乗算）		危険度	危険度の基準
死亡災害	5	死亡又は重度の災害	極めて高い	5	発生する可能性が非常に高い。（三大災害が該当、注意して居ても起こる）	16～25	必　須	A	工法、設備などの抜本的な対策が必要。
重度な災害	4	長期入院を要す	高い	4	多く発生する可能性がある。（注意して居れば防ぐ事可能）	12～15	最優先	B	作業内容、作業手順を再検討する必要がある。
中度な災害	3	休業4日以上	ある	3	時々発生する。（注意して居れば殆ど防ぐ事可能）	8～10	優　先	C	当該作業箇所の危険要因を低減する必要がある。
軽度な災害	2	休業4日未満	低い	2	まれに発生する可能性がある。（注意して居れば発生しない）	4～6	許　容	D	作業開始前に安全指示を行う必要がある。
軽微な災害	1	不休災害	極めて低い	1	ほとんどない。（注意して居なくても発生しない）	1～3	無　視	E	特に対策の必要ない。

①再評価の重大性低減措置について（可能性が2以下の場合は、重大性を−2まで低減することができる）